

● インタビュー



遠野郷八幡宮  
榎宜 多田 宜史さん

遠野まつりの中でも見どころの1つである南部流鎗馬の最大の特徴は、介添奉行による「よう射たりや」と叫びながら馬場を走り抜ける作法です。介添奉行のはじまりは、橘左近という若武者が流鎗馬での射抜いた嬉しさのあまり、祖父が「よう射たりや」と褒めながら馬に乗って追いかけたのが由来と言われています。この掛け声は、盛岡と遠野以外では聞くことができない貴重な文化となっています。

流鎗馬は五穀豊穡、地域の安寧を願って行われています。当たり矢は縁起が良いものとして献上していた過去もあります。久しぶりに馬場に響き渡る「よう射たりや」が楽しみです。

● インタビュー



遠野南部ばやし保存協議会  
会長 昆 弘盛さん

南部ばやしは、遠野南部家初代の直栄公が京都の祇園ばやしをもとに遊芸師に作らせ、遠野の特色を加えたのがはじまりと言われています。

踊り手や鼓が前方に並び、後方には優雅な山車を配置し、太鼓や三味線、笛の音を奏でます。赤い振袖に化粧まわしのような衣装をつけた女性たちが、あでやかな舞を披露する姿はとても美しいです。

南部ばやしは、上組町・穀町・仲町・一日市と遠野保育園の5団体があります。各団体ごとに衣装や踊りに違いがあり、工夫してつくったいでたちです。コロナ禍で出演できる団体は限られますが、市民の皆さまに楽しんでもらえればと思っています。

## まつり観覧時の新型 コロナ感染防止対策



お願い 観覧する人は  
① マスクを着用



人と距離が離れている、会話がな場合、マスクを着けることができない人を除き、常時マスクを着けましょう。

お願い 水分補給を除き、  
② 会場内で飲食しない



会場内に屋台や飲食スペースを設けません。各自で、体調管理を目的とした水分補給をしましょう。

お願い 観覧者と出演者は  
③ 適切な距離で



観覧時は、出演者と2m以上離れましょう。感染防止のため、出演者と触れ合うことも控えましょう。

お願い 大声を出さず  
④ 拍手で盛り上げる



まつり会場では、大声での会話や掛け声を控え、拍手でまつりを盛り上げましょう。

50周年の節目を迎える「日本のふるさと遠野まつり」(同実行委員会主催)。今月は、まつり(9月17・18日)観覧時のお願いと、「南部ばやし」・「南部流鎗馬」のことについて紹介します。



遠野まつり公式サイトで、各保存会の特徴などを紹介しています。